

保育における子どもの様々な姿を どう見取るか？

-パターン・ランゲージ作成過程における本質観取から-

企画・司会：天野美和子（東京大学Cedep）

話題提供：今井裕也（株式会社さくらさくみらい 保育・運営企画ユニット）

大越絵里（さくらさくみらい 中村北園）

福田萌子（さくらさくみらい 本町園）

指定討論：宮田まり子（白梅学園大学）

はじめに

1. 子どもの姿の見取りについて

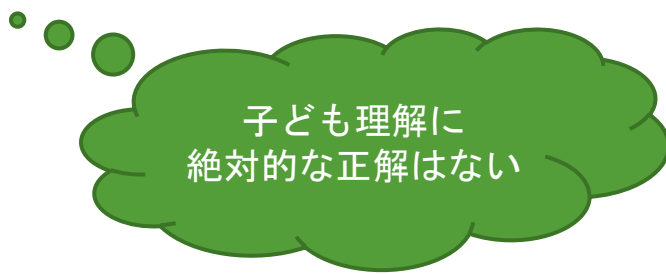
2. パターン・ランゲージについて

3. Cedep と さくらさくみらいの
共同プロジェクトについて

1. 子どもの姿の見取りについて

- 保育者が子どもの姿（何気ない表情や言葉、行動など）を見取ることの重要性
- 子どもの姿を丁寧に見取ることが保育者の適切な援助につながる
- 子どもの姿には、一人ひとりの子どもにとっての意味や想いが表れている
- 一人ひとりの保育者の子どもの見取りも様々である（保育観の違い）
- 同僚の保育者同士で、子どもの姿について丁寧に意見を交わすことが子ども理解を深める

➡保育者間での対話を通して行うことが必要！



子ども理解に
絶対的な正解はない

2. パターン・ランゲージについて

- ある事柄について、すでに豊かな経験を持っている人から「コツの抽出」をし、他の人が実践する際のヒントを言語化して提示したもの

「知恵の伝承&学び」の方法（井庭，2013）

- Cedepでは、2016年から2019年にかけて、慶應義塾大学井庭研究室との共同研究により、ミドルリーダーのためのパターン・ランゲージを制作

『園づくりのことば-保育をつなぐミドルリーダーの秘訣』

丸善出版、2019年、井庭崇・秋田喜代美（編著）、野澤祥子・天野美和子・宮田まり子（著）

- パターン・ランゲージ作成過程では、プロジェクトメンバーとの沢山の対話を重ねる

➡この過程で、その事柄の本質を探る経験をする（本質観取）

3. Cedep と さくらさくみらいの 共同プロジェクトについて

- Cedepでは、2020年12月より株式会社さくらさくみらい との
共同プロジェクトを開始
- パターン・ランゲージの手法を用いて、**保育者の子ども理解を促すた
めのパターン・ランゲージ作成**に取り組んでいる（現場保育士、本部
職員含め10名のワーキングチーム）



現在、28個の
子どもの姿の
パターンを
分析中！！

本プロジェクトの構成メンバー

<Cedep>

・天野美和子・野澤祥子

<白梅学園大学（Cedep協力研究者）>

・宮田まり子

<学習院大学（東京大学名誉教授）>

・秋田喜代美

<慶應義塾大学（Cedep協力研究者）>

・井庭崇

<株式会社さくらさくみらい>

現場保育士：大越絵里・福田萌子・西澤茜

橋本二愛・正田詩織・今井はるな・池田亜希

本部職員：柿沼弘幸・今井裕也・松村真里

話題提供者のご紹介

1. 今井裕也 氏（株式会社さくらさくみらい保育・運営企画ユニット）

テーマ：自分の世界観を崩されたくないという思いの表れ

2. 大越絵里 氏（さくらさくみらい 中村北園）

テーマ：「眠い」ときに見られる子どもの様々な姿-「眠い」は「快」なのか「不快」なのか？

3. 福田萌子 氏（さくらさくみらい 本町園）

テーマ：知っていることは誰かに教えたいという思いの表れ

現在作成しているパターン・ランゲージ（28個）の中から、いくつかの子どもの姿を取り上げてもらう。

パターン・ランゲージの作成過程で積み重ねてきた対話を通して、それぞれの姿の根底に込められた子どもにとっての意味や想い（本質）を、どのように読み取ることが出来たのかについて、話題提供していただく。

指定討論者のご紹介

宮田まり子 氏（白梅学園大学）

『園づくりのことば』の著者の一人でもある。

パターン・ランゲージ作成経験と、保育の専門的な視点から

コメントをいただくことで、さらに、

話題提供者や参加者の皆さまとの対話を深めたい。

企画趣旨

本シンポジウムを通して
子どもたちの何気ない表情や行動をどのように見取り
その姿の根底にある意味をどう捉えるのかについて
参加者の皆さまと共に
考えを深める機会としたいと思います。

